

備北商工会報

パートナー

第3回

備北商工会通常総代

第3回備北商工会総代懇親会



第3回 通常総代会
平成20年5月17日(土)
場所:成羽総合福祉センター

パートナーシップまいんど商工会
第4号

平成20年6月

編集・発行：備北商工会

■本部・成羽 T716-0111 高梁市成羽町下原432-1
TEL(0866)42-2412 FAX(0866)42-2012

■有漢支所 T716-1312 高梁市有漢町有漢3387
TEL(0866)57-2924 FAX(0866)57-2930

■川上支所 T716-0201 高梁市川上町地頭1814-1
TEL(0866)48-2000 FAX(0866)48-3660

■備中支所 T716-0303 高梁市備中町長屋7-2
TEL(0866)45-3137 FAX(0866)45-3171

備北商工会 第二回通常総代会開催



五月十七日（土）午後一時から、成羽総合福祉センターにおいて総代八十三名（内委状四十一名）の出席により、秋岡高梁市長、久徳県議会議員等多数ご来賓のご臨席を賜り、第三回通常総代会を開催しました。

大森副会長による総代会成立宣言と開会の辞、柳井会長の挨拶宣後、公務の都合により秋岡毅高梁市長から祝辞をいただきました。

議長に田中猪三郎総代が選任され、平成十九年度事業報告、平成十九年度決算の承認、平成二十年度事業計画の決定、平成二十年度予算の決定、一時借入金の承認など五議案が審議され、全て原案のとおり可決承認されました。

続いて、来賓を代表して久徳大輔岡山県議会議員、大上英樹岡山県備中県民局次長、鈴木岡山県商工連合会専務理事、徳岡幸義国民生活金融公庫倉敷支店長からご祝辞をいただき、谷口副会長が閉会の挨拶を述べ盛会裏に終了しました。

- ①備北商工会地域統商品券の発行
- ②地域固有の伝統行事やイベント事業の円滑な推進と運営
- ③産学官連携事業（学習観光・まちなか産業観光）の推進
- ④定住促進事業の推進
- ⑤財政基盤強化のための各種共済制度の推進

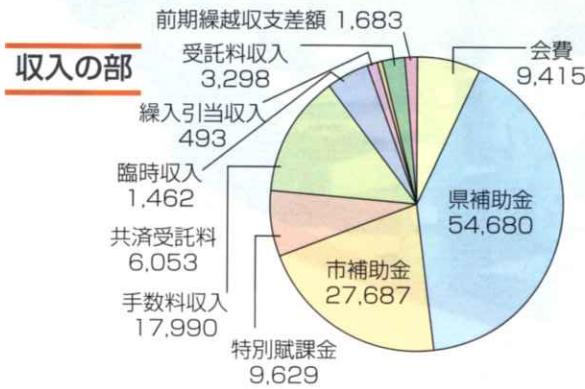
- ①地区内商工業の経営合理化等の相談指導及び基礎的経営支援の拡充
- ②地域力連携拠点事業を活用した総合的な経営支援
- ③商工会会報『パートナー』の充実と会員情報ホームページの作成

重点事業計画

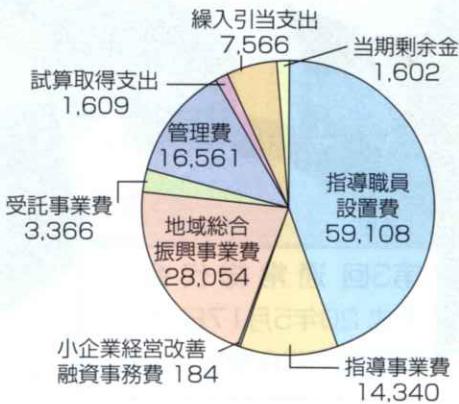


- ◎アクションプランの行動計画に基づいた段階的な推進実施

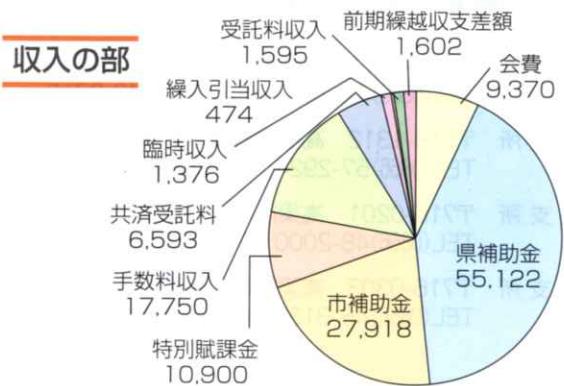
平成19年度 決算の状況



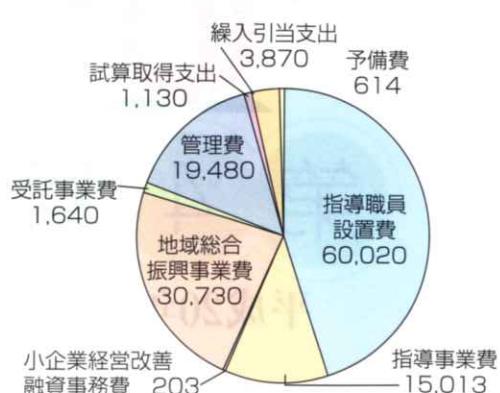
支出の部



平成20年度 予算の状況



支出の部



有漢地区運営会議



六月五日（木）、高梁市有漢地域センターにおいて、有漢地区運営会議を開催しました。まず、地区内の新会員加入の紹介や「NPO法人夢風車うかん」の経過報告を行い、続けて平成二十年度事業計画、会員増強・各種共済の推進について、協議を行いました。今年度の主な事業は次の通りです。

○ JAZZ・FROM・UKAN

（四月六日）

○ 納涼ふるさと祭

（八月九日）

○ ウカソ・ザ・フェスティバル20008

（八月三十日～十二月二十日）

○ 先進地視察（島根県奥出雲町）

（九月）



成羽地区運営会議



五月二十九日（木）午後七時から、備北商工会本部大会議室に於いて平成二十年度第一回成羽愛宕大花火実行委員会兼第十一回成羽地区運営会議を開催しました。

会議で決定した平成二十年度の主な取組みは、次の通りです。

○ 復興第五十七回備中名物成羽愛宕大花火

（七月二十六日）

○ 第二十五回なりわ祭り

（十月五日）

○ 平成二十年度謝恩年末大売出しと招待旅行

（十二月下旬）

○ 第三十回成羽町桜まつり

（四月上旬）

四月二十四日（木）川上支所において川上地区運営会議を開催しました。厳しい経済状況の中、川上地区では商工会はまちづくりにおける地域に残された最後の砦としての意のもと、地区運営会議が中心となり各種イベントの開催や「マンガ絵ぶた商品券」の発行、「マンガ絵ぶた公園駐車場」の有効活用などさまざまな地域活性化事業に取り組んでいます。本年度の地域活性化事業の主なものは、八月十三日「第十四回マンガ絵ぶたまつり」、十月十九日「かわみふるさと物産まつり」への出店、また十二月六日「冬絵ぶたイルミネーションの点灯式」の開催を予定しております。

備中地区運営会議



六月十日（火）に「備北商工会共通商品券」の発行に向け、現在の「ビスター商品券」の取扱い等を議題に協議をしました。現在では購買客の流出、人口減少など低迷の一途をたどる中、平成十二年度に立ち上げた商品券事業の設立からの推移の説明や、四分の一以下に落ち込んでいる現在の取り扱い状況の説明後、合併後の商工会の方向性を示すアクションプランと今年度の重点事業でもある共通商品券の発行の内容を説明し、消費者の利便性の向上による消費の拡大に繋がればという向きな考え方で「備北商工会共通商品券」の発行に向けて参加者の納得を得相談の上進めるという代表理事の姿勢のもと、今後に繋がる会議になりました。

備北商工会女性部



続いて、ご来賓からご祝辞を戴き
盛会のうちに終了しました。

可決された事業計画は次のとおり

第三回通常総会開催

一・研修会への参加

- ①備中ブロック活動

- ②中国・四国ブロック商工会女性部交流会、主張発表大会

- ③全国大会

- ④研修視察

二・ソフトバレー・ボール大会

三・若手後継者等育成事業における女性部人材育成事業

四・地域振興活動

五月二十一日（水）午後六時三十分から、成羽総合福祉センター大酒店に於いて、秋岡毅高梁市長、久徳大輔岡山県議会議員、柳井正昭商工会長、河上真一青年部長を招き、第三回備北商工会女性部通常総会を開催しました。

議長に三宅典子部員を選任し、平成十九年度事業報告・収支決算の承認、平成二十年度事業計画・収支予算の決定、会費賦課額及び徴収方法の議案を審議し、全て原案通り可決承認されました。

備北商工会青年部

五月九日（金）に成羽福祉センターにおいて、久徳大輔県議会議員、大月健一市議会議員、柳井正昭商工会長、岡辺峰孝県青連副会長を来賓として迎え、第三回通常総会を開催しました。

河上真一部長の挨拶、ご来賓より祝辞を賜った後、議長に妹尾芳訓部員を選任し、平成十九年度事業報告

及び収支決算の承認、平成二十年度事業計画及び収支予算の決定などの四議案が審議され、全て原案通り可決承認されました。

今回承認された平成二十年度の事業計画では、地域振興事業を基盤とし、地域色豊な事業展開を行い、奉仕活動、研修会・講習会等を実施する。

また、本年度は中四国ブロック交流会の開催地が岡山県であり、県内外の青年部との交流を深めることに、地域事業の推進や組織の活性化による基盤強化を目指します。



青年部主張発表大会



五月十四日（水）に岡山県商工会青年部連合会通常総会が岡山ロイヤルホテルにおいて開催されました。総会に引き続き、第十五回岡山県商工会青年部主張発表県大会が開催され、当商工会青年部員の（株）ナリケンテクノ佐藤章記部員が、青年部を代表して参加発表を行いました。

当日は、青年部員二十四名の応援のなか、「青年部活動と地域振興・まちづくり」について発表されました。結果は入賞こそ逃しましたが、凛とした態度で堂々と主張されました。

まちの元気な企業紹介

有
漢



有限会社 千 崎 建 設

〒716-1321 高梁市有漢町有漢5264-4
TEL0866-57-3236 FAX0866-57-3237

(有)千崎建設は土木工事業で、主に公共工事を行つてきましたが、工事の減少に伴い売上も減少し経営に苦慮しておりました。経営の危機に直面し経営改善や新たな事業展開を図るため、新分野の事業を模索しておられました。商工会等の調査資料を基に分析した結果少子高齢化・過疎化が進んでいる当地域は、介護福祉事業にとつては介護保きな事業機会があることが分かった。

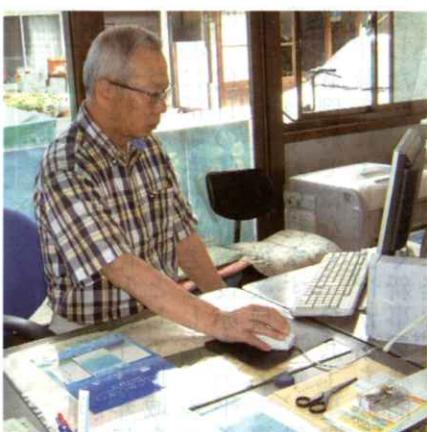
こうした状況を踏まえ、地域に根付いた会社作りをモットーに介護福祉事業により地区の会議福祉の問題を解決するためヘルパーステーションを立ち上げられました。

将来的には、事業の安定、サービスの充実、人員の確保を行い、激化してきている介護福祉事業の競争に勝ち残れるためにも介護保

陥にとらわれないサービス、多様化するニーズに適切に対応できるような高付加価値サービスを提供できるよう近隣の市町村へも営業活動を視野に入れて広域的な事業展開を考えておられます。また、Dの設置をしており、地区住民と共に講習会を開催するなど、積極的に地域への認識を深めておられます。



成
羽



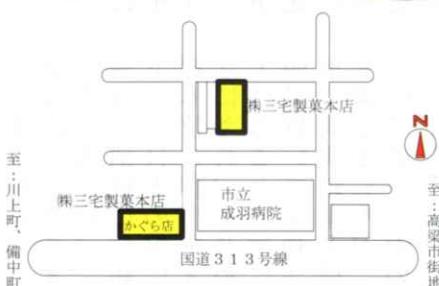
(株)三宅製菓本店は明治三十八年創業、本年で百三年目を迎える老舗です。主力商品は、国的重要無形民俗文化財備中神楽の神楽面をモチーフにした「神楽最中」と創業者の名前から由来する「金平饅頭」で売上全体の七割を占めています。昭和四十四年、国道313号線沿いに「かぐら店」を出店、贈答品やお土産品などの需要に対応すべく販売部門を独立店舗化されました。四代目社長の三宅亮三さんは、大手百貨店での営業勤務経験から、特に集客力のあるデパート地下やスーパー・空港等での委託販賣に着目され主力商品の銘柄は自社ブランドとしての知名度もあがり成羽銘菓としての地位を確立しています。当社は特に原材料にこだわり使用する小豆は国内産のみを使用していること、原材料

高騰のなか今後の経営戦略として、大手菓子メーカーとの商品の差別化を図っていくことと共に販路の開拓と拡大を掲げられており商工会との関わりの中で専門家等のドバイスも受け入れながら次の代への事業承継を行いたいとのことで現状に甘んじることなく積極的な経営姿勢は見習うべき所も多いと感じました。



株式会社 三 宅 製 菓 本 店

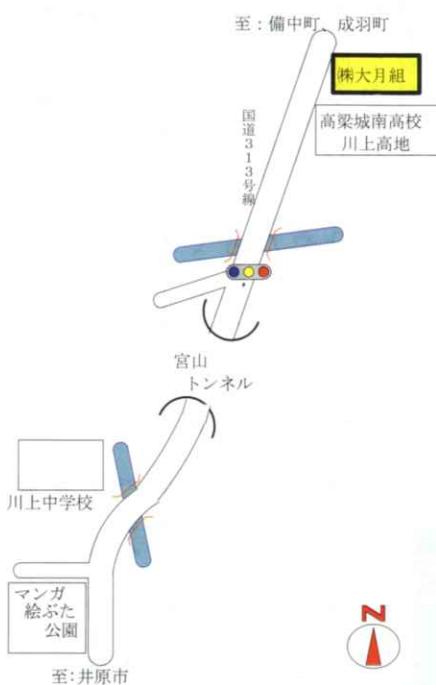
〒716-0111 高梁市成羽町下原577
TEL0866-42-3105 FAX0866-42-3185
<http://www.nariwa.ne.jp/kinbei/>
E-mail : kinbe@nariwa.ne.jp



まちの元気な企業紹介

川上

株式会社大月組は、昨年、経営革新計画の策定に取り組まれ、「ペットをテーマとしたエクステリア・リフォーム市場への展開」というテーマで承認を受けられました。当社は昭和三十三年に現在地に創業し、道路工事等の公共事業や木工事や、住宅・店舗等の民間工事の施工を行っている企業です。近年の競争激化による売上高で土土在来、

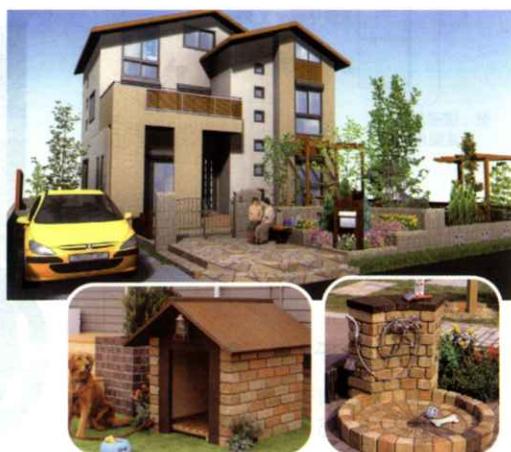


株式会社 大月組

〒716-0204 高梁市川上町領家1864
TEL 0866-48-3085 FAX 0866-48-3086
E-mail : otsuki@alto.ocn.ne.jp

住環境の創造」を特色として「癒し」、「安らぎ」の空間づくりを目指されています。これまで民間への営業活動を直しにより地方の建設業者が受けける影響は大きく、当社は新規事業としてエクステリア事業への取り組みを進めました。最近、ペットを飼う世帯が増えていることに着目し、「ペットとの豊かで快適な生活」を新規事業のメインテーマと快適にすごせる

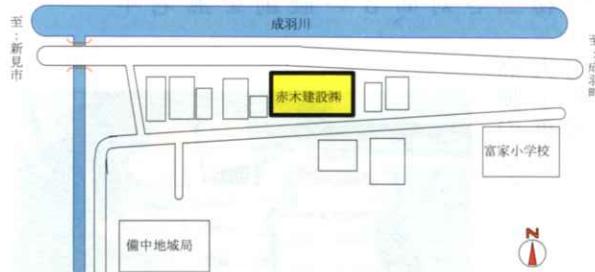
とし、「ペットと快適にすごせる」と話されていました。



備中

赤木建設(株)は、昭和四十五年に創業され、建設業者として地域を中心活動されてきました。現在は二代目の代表取締役赤木公平さんが、役員三名と従業員三名で事業を行っておられます。近年、建設業も例外ではなく、公共工事の受注減少により売上げが落ち込みましたが、いち早く新事業展開を考えられると同時に経営革新計画策定に着手し承認企業となり、墓地の改修工事、トイレのリフォ

ム工事に特化して取り組まれ、高梁市内に留まらず岡山・福山などに飛び回っておられます。社長は「地域に信頼を売る」をモットーに自らの事にとらわれずお客様に飛んでいます。以前、新規創業者研修で経営革新を受講しましたが、厳しい地方経済の中で暗中模索の状況でした。今年もまた受講して新しい事業展開を模索すると共に会社のホームページを開設し、必要な情報を探しています。愛娘「優子ちゃん」を見る優しい笑顔の中から垣間見える真剣な表情に次代を担う力強さを感じ取れました。



赤木建設株式会社

〒716-0303 高梁市備中町長屋65-1
TEL 0866-45-3333 FAX 0866-45-3335
<http://oogot.com>
E-mail : iiken@oogot.com

商工貯蓄共済「貯蓄・融資・保障」

商工貯蓄共済は、商工会員のための共済制度です。

「貯蓄・融資・保障」3つの備えが月額2千円（1口）で始められる商工貯蓄共済をおすすめします。

加入できる方

個人企業：事業主とその家族・従業員
法人企業：会社、会社役員とその家族・従業員
商工会：職員とその家族

加入期間 10年間

加入できる最大口数 被共済者1人につき20口まで

◎新しく**医療保障特約型**ができました。

疾病、災害入院給付金・手術給付金及び無事故給付金が受け取れます。（詳細は商工会へお問い合わせ下さい）

全国商工会福祉共済

○共済期間：（福祉共済及び医療特約） 2007年11月1日～2008年11月1日

○途中加入：毎月1日午後4時の共済開始期でご加入になれます。

福祉共済

加入タイプ	Aタイプ	Bタイプ
加入年齢	満6歳～65歳（継続加入74歳迄）	満66歳～80歳（継続加入85歳迄）
掛金	月額 2,000円	月額 2,000円

医療特約（福祉共済にご加入されている方のみが、ご加入いただけます）

加入タイプ	Aタイプ	Bタイプ
加入年齢	満6歳～65歳	満66歳～74歳
掛金(医療保険の保険料を含む)	月額 1,000円	月額 1,000円

重点事業の内容

一、地域力連携拠点事業

この事業は、従来の経営革新支援アドバイザー事業を拡大して地域のつながりを強化し、経営力の向上、事業継承等、直面する課題に対しきめ細かな支援を行う事業です。備中ブロック管内七商工会と連携し専門家派遣事業や情報提供事業を行い、経営上の課題の把握と解決に向けた支援を行うものです。

二、備北商工会共通商品券の発行

当商工会では、地域の購買力流出に歯止めをかけ地域住民の地元購買の機会を増加させる等地域活性化を通じた小売・サービス業への支援策と商工会の一体感の醸成を目的として共通商品券を発行します。特別委員会をで検討して十月下旬を目途に運用開始する計画です。

三、産学官連携事業（学習観光・まちなか産業観光）事業の推進

高梁市・高梁学園・高梁商工会議所等と連携し、昼間人口、交流人口の増加による経済や観光への波及効果を最大限に活かし、定住促進への足がかりとすることを目的に「体験学習観光」や「まちなか産業観光」事業を推進します。

☆学習観光プラン 五コース 本年度実施計画

①城下町高梁と吹屋ふるさと村Aプラン
(一泊二日) 九月二十六～二十七日

②城下町高梁と吹屋ふるさと村Bプラン
(一泊二日) 十月十八～十九日

③山田方谷と高梁の銘酒を訪ねて
(日帰り) 七月十七日

④近代化遺産を訪ねて(日帰り)
八月二十八日

⑤精進料理と渓谷の紅葉を訪ねて(未定)
十月九日

☆まちなか産業観光プラン三コース
①備中高梁再発見2008コース
九月十一日

②備中吹屋・成羽産業観光コース
十月九日

③備中高梁再発見2008コース
十一月六日

四、定住促進事業の推進

備北商工会エリアにおいては過化少子高齢化が進展し、今後においてもこの傾向は続くものと予測されています。このことは地域産業の停滞感や地域コミュニティの低下など地域に大きく影響し、地域の活力を増大させる事業展開が望まれている状況であります。そのため県内外の地元出身者等に対して当地域の特徴や魅力ある豊かな暮らし等の情報、行政施策、空き店舗情報の人材情報を発信してUJITAIERUN者に増加を図り人口の流出や減少の抑制により定住促進に向けた事業を本格的に実施します。

備北青色申告会設立総会開催

五月十三日(火)午後六時から、成羽総合福祉センター二階研修室に於いて、備北青色申告会設立総会を開催しました。

赤木幹雄設立発起人副代表の開会の辞、河内啓輔設立発起人代表の挨拶の辭、河内啓輔設立発起人副代表の挨拶の後、大森昇備北商工会副会長の挨拶の後、中藤設立発起人副代表により、設立総会に至るまでの経過報告が行われました。

議長に林陽一会員が選任され、備北青色申告会会則の決定、平成二十年度事業計画の決定、平成二十年度収支予算の決定が審議され、全て原案通り可決決定されました。また、備北青色申告会役員が選任され、直ちに第一回役員会を開催し、役職の互選が行われ、次の通りに決定しました。

○監事	○理事	○副会長	○会長
河内啓輔 新会長	岡崎清原	中藤河内	赤木啓輔
芳賀大石	原田岡崎	松田清原	新二
有恒勝秀	勝秀	周一	赤木幹雄
(以上十四名)			

代表して池原達夫高梁税務署長、中村莞爾高梁地区青色申告会連合会長からご祝辞を戴き、辻英之設立発起人副代表が閉会の辞を述べ、盛会に終了しました。

きじ丸ロマンカード会のお知らせ

いつもきじ丸ロマンカード会をご利用頂き誠に有難うございます。お陰を持ちまして、平成5年に発足しましたきじ丸ロマンカード会も15年が経過し、この度カードを新しくリニューアルすることになりました。

お得な更新イベントも企画しておりますので、このチャンスにカードの更新を早めにして下さい。今後も楽しくお買い物をして頂くために、加盟店一同力を合わせてお客様に喜んで貰えるサービスや企画を考えていきたいと思いますので、変わらぬご愛顧をよろしくお願い申し上げます。

カードの利用方法

*加盟店にて現金で100円お買上げ毎に1ポイントのサービスを受ける事が出来ます。

*500ポイントで商品券と交換する事も出来ます。

*各種お得なイベントに参加する事が出来ます。

新規加入会員紹介

地区	事業所名	代表者名	業種
1 成羽	備北興産(株)	大東幸太郎	土地建物管理、自動車リース業
2 川上		槇井 誠	建築土木業
3 川上		妹尾 章弘	小売業 IT関連 通信販売
4 成羽	司法書士・土地家屋調査士 亀山俊 事務所	亀山 俊	司法書士 土地家屋調査士
5 成羽	昂商事	小阪 文人	運送業
6 成羽	読売センター成羽	大山 一入	新聞販売業
7 成羽	山室設備	山室 善男	管工事業
8 備中		渡辺 武士	大工建築業
9 備中		小林 清	大工建築業
10 川上		渡辺 亮	木造建築工事業
11 有漢		坂本 正規	電気検針業
12 有漢	(株)GUN.I(ゴニ)	東 健二	飲食業

編集後記

総代会も終了し、今年度の事業が本格的にスタートしました。重点事業を中心に、様々な事業を確実に推進していきたいと思います。

また、すでに夏のイベントがスタートしています。会報『パートナー』は、2年目を迎えるました。会員の皆様に役立つ情報を掲載していきますので、ご活用ください。(敏)

JAZZ from UKAN 2008

4月6日(日)に有漢町芳烈酒造(株)「酒蔵」において、毎年恒例となっておりますJazz from Ukanが正午より「木住野佳子トリオ」をお迎えし青年部主催で開催されました。

当日は、春のきざしが眩しいほどの晴天で市内外はもとより、県外からの来場者もおられ、二百人を超える方々がJAZZと酒蔵のセッションに酔いしれました。また、会場の中庭では、青年部手作りによる郷土料理なども楽しんでいただき、来場者は「とても楽しいイベントです。」「来年もぜひ来たい。」などと手作り料理と芳烈酒造のお酒に舌包みを打ちながら、JAZZの音楽を思い思いの楽しみ方で心地よい春の陽気の中イベントを楽しめました。